



BYK-MAX P 4200, BYK-MAX ORシリーズ オレフィン系プラスチック・エラストマーのVOC・におい低減に最適！

BYK-MAX P 4200の特徴

- ✓ BYK独自技術により水をPPキャリアに保持
- ✓ 押出プロセスにてVOC・におい成分に濡れる微小泡を形成
- ✓ 設備投資することなく、使用も簡単！

推奨用途

- ✓ 自動車内装材
 - ポリプロピレンコンパウンド
 - TPO, TPV, RTPPO, αオレフィンコポリマーなどオレフィン骨格の熱可塑性エラストマー製自動車内装材
- ✓ マテリアルリサイクル
 - ポストコンシューマーリサイクル (PCR)
 - ポストインダストリアルリサイクル (PIR)

その他におい削減ソリューション

製品	概要	脱臭メカニズム	想定におい分子
BYK-MAX P 4200	PP/水MB*	系外へ放出	アルデヒド等極性物質 低級脂肪族化合物など
BYK-MAX OR 4206	PE脱臭MB*	吸着	酸・窒素・硫黄系分子
BYK-MAX OR 4207	PP脱臭MB*	吸着	酸・窒素・硫黄系分子
BYK-MAX FR 4142	難燃MB*	発生抑止	オレフィン分解物

* MB: マスターバッチ

お問い合わせ

- ✓ 下記ホームページリンクよりお気軽にお問い合わせください。
<https://www.byk.com/ja/contact>

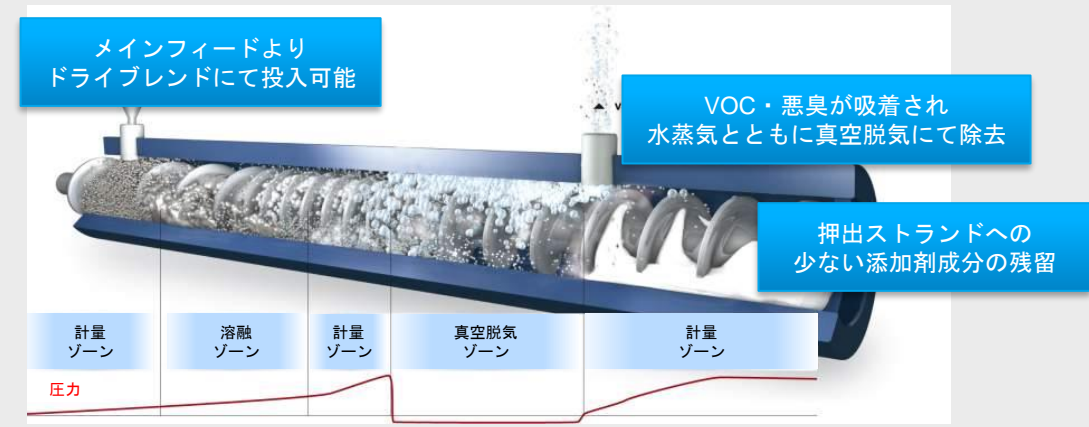


図1 BYK-MAX P 4200 作用メカニズム

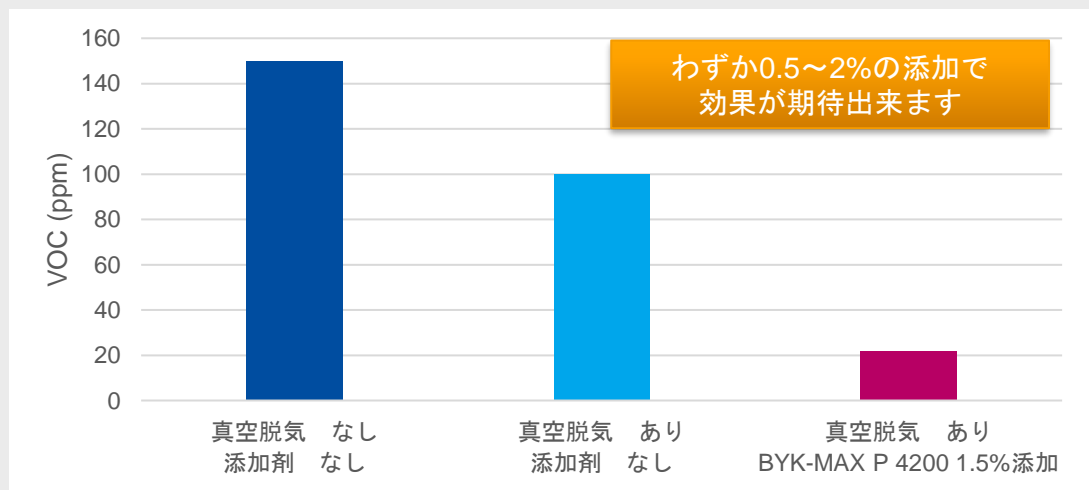


図2 VOC削減効果例：30%ガラス繊維強化ポリプロピレンコンパウンド成形品

本情報は当社の現在の研究データや技術に基づいています。実際の効果は材料の配合や加工条件によって異なります。十分に試験をされた上でご使用ください。本情報に記載の製品の使用もしくは情報の使用に際して、特許権を含む種々のケースに対する一切の法的責任は負いかねます。当社もしくは第三者の知的財産権その他の権利に関わる問題が生じた場合は当社はその責を負うものではありません。また、これらの権利の実施権の許諾を行うものではありません。記載内容は改良や開発のために変更することがあります。

